

コース名		科目名		選択科目名		対象学年		
良医の礎		リベラルアーツ選択Ⅰ		貝原益軒の『養生訓』を読む		1		
開講学期		科目責任者		選択科目責任者		全体資料		
2学期		泰山 浩司		西脇 藍		無		
授業到達目標								
<p>1. 江戸時代に本草学者であり儒学者でもあった貝原益軒が、自らが実践してきた健康と長寿のための方法を説いた『養生訓』（1713、正徳3年）を、参考文献や辞書を使って読み、医療の先人たちの叡智、向上心、精神などにじかに触れ学ぶことができる。</p> <p>2. 現代医療へ至るまでの歴史に敬意を持って将来の方向を展望する視野を持つことができる。</p> <p>3. 日本の古典を原文で味わうことで、医学だけにとどまらない教養を身につけることができる。</p>								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	9/4	水	1	講義	西脇	非常勤/ 医福大	貝原益軒と『養生訓』について知る	A-9
2	9/18	水	1	講義	西脇	非常勤/ 医福大	「総論上」より「人の体は貴い」「内欲をおさえ、外邪を防ぐ」「養生の大切な項目」など	A-9
3	9/25	水	1	講義	西脇	非常勤/ 医福大	「総論上」より「外邪を防ぎ、内欲を忍ぶ」「畏れからはじまる」「人は長生きをして楽しみと益を得る」など	A-9
4	10/2	水	1	講義	西脇	非常勤/ 医福大	「総論上」より「養生とはひまをすることではない」「無病長生はからだの中にある」「理を重んじ気を養う」など	A-9
5	10/9	水	1	講義	西脇	非常勤/ 医福大	「総論下」より「動きすぎず、静かすぎず」「からだを可愛がりすぎずはいけない」「よいことも悪いことも習慣から」など	A-9
6	10/16	水	1	講義	西脇	非常勤/ 医福大	「総論下」より「病はすべて気から生じる」「七つの情と六つの欲」「養生としての詠歌と舞踏」など	A-9
7	10/23	水	1	講義	西脇	非常勤/ 医福大	「飲食上」より「節度を超えて食べすぎずはいけない」「食事をとる理由」「五思をめぐらせて食事をする」など	A-9
8	10/30	水	1	講義	西脇	非常勤/ 医福大	「飲食下」などより「たくさん食べてはいけないもの」「酒は適量を飲む」「茶をたくさん飲むと」「たばこ」など	A-9
9	11/6	水	1	講義	西脇	非常勤/ 医福大	「五感」などより「こころは体の主君」「寝る姿勢」「目と歯の病気の予防」など	A-9
10	11/13	水	1	講義	西脇	非常勤/ 医福大	「折医」より「医者になる才能」「医は仁のころをもって行う」「他の医者をけなさない」など	A-9
11	11/20	水	1	講義	西脇	非常勤/ 医福大	「用薬」より「病のわざわいよりも、薬のわざわいが多い」「臨機応変に対応するのが良医」「薬と食事」など	A-9
12	11/27	水	1	講義	西脇	非常勤/ 医福大	「養老」より「老人の養生の道」「老いては欲と怒りをおさえる」「一日をおしんで生きる」など	A-9
13	12/4	水	1	講義	西脇	非常勤/ 医福大	総括－江戸時代の「養生」を通して現在の医療を考える－	A-9
評価方法								
<p>[レポート]35%（最終講義時に提出。講義で学んだことを活かして資料を読み込み、それらをもとにきちんと自分の意見が述べられているかどうか）</p> <p>[プレゼンテーション]30%（担当した『養生訓』の原文の現代語訳、解説、調べたことなどの発表内容）</p> <p>[出席状況（受講態度）]25%（出席状況、講義への積極性）</p> <p>[その他]10%（各回に提出してもらう感想、意見）</p> <p>[評価方法]出席・受講態度評価、論文・レポート、プレゼンテーション評価</p>								
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて								
レポート提出前にレポート内容について口頭発表の場を設ける予定である。その際、教員からだけでなく、受講者同士で意見交換や評価を行う。								
教科書								
(特になし)								

参考書

ISBN-4003301013, 養生訓・和俗童子訓, 貝原益軒著・石川謙校訂, 岩波書店, 1961  
ISBN-4061585770, 養生訓, 貝原益軒著・伊藤友信訳, 講談社, 1982

準備学習（予習・復習等）

毎回数名の学生に『養生訓』の原文の現代語訳、解説、調べたことなどを発表してもらうので、担当する際は発表準備をして講義に臨むこと。発表後、全員で意見交換を行うため、自分の担当箇所でない部分であっても、必ず配布されたレジュメや文献の1時間程度の下読み・熟読をすること。

講義についての注意事項

発表者だけでなく、毎回積極的に自身の考えの発言を心掛けること。

昨年度からの変更点・改善項目

江戸時代を通じて人々の健康の指南書となった『養生訓』を輪読する。先人たちの医学の教えだけでなく、生き方も学び、広く深い見識と教養を身につけることを目指したい。

学生の受け入れ方針や卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

本科目の履修は医師としてのプロフェッショナリズムやコミュニケーション能力を身に付けるための基礎となる。

ナンバリング

GLLA110